

奈良女子大学
古代学学術研究センター

平成 26 年度

第 2 回月例研究会

日時：2014 年 7 月 2 日（水）16：30～

場所：生活環境学部会議室（生環 A 棟 1 階）

内容：文化財資料に含まれるたんぱく質を対象
とした質量分析の新たな展開

深草 俊輔（古代学学術研究センター 特任助教）

文化財において絹、膠のようなたんぱく質から構成される素材は広く使用されている。しかし、文化財の科学分析においてフーリエ変換赤外分光法などたんぱく質を対象とした分析は少ない。これまでに我々は文化財中に含まれる絹、膠についてマトリックス支援レーザー脱離イオン化法—質量分析（MALDI-MS）を用いて検出、さらに由来動物種の同定を行ってきた。今回、新たに導入されたナノ液体クロマトグラフィー—エレクトロスプレーイオン化質量分析（ナノ LC-ESI-MS）での分析例、その利点とともに異なる素材の測定と違った更なる分析手法の展開の可能性について報告する。

ご自由にご参加下さい